

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 人間関係と コミュニケーション	授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 相澤 雅則	
授業の回数 30 コマ	時間数（単位数） 60 時間	配当学年・時期 2 年前期・後期	講師の実務経験 (有) ・ 無
[授業の目的・ねらい] 1. 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。 2. 人間関係の形成やチームで働く力を養うための、コミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。 3. 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。 4. 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。 5. 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。			
[授業全体の内容の概要] (1) 対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。 (2) 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。			
[授業修了時の達成課題（到達目標）] ・人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解する。 ・介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用等の人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワーシップ等、チーム運営の基本を理解する。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 1 自己覚知、他者理解、ラポール、自己開示 2 パーソナリティ 3 グループダイナミックスの活用 4 コミュニケーションの意義・目的 5 コミュニケーションの特徴・過程 6 コミュニケーションを促す環境 7 アサーティブネス（自他を尊重した自己表現） 8 ポライトネス（相手を尊重する言語的配慮） 9 対人関係とストレス 10 物理的、心理的距離（パーソナルスペース）の理解、相談や意見を述べやすい環境の整備 11 受容、共感、傾聴 12 相談面接の基礎（バイステックの原則、マイクロカウンセリング、感情の転移・逆転移など）			

<p>13 言語的コミュニケーション</p> <p>14 非言語的コミュニケーション</p> <p>15 組織の中におけるコミュニケーションの特徴</p> <p>16 組織における情報の流れとネットワーク</p> <p>17 介護サービスと他サービスとの相違点</p> <p>18 ヒューマンサービスの特徴・特性倫理・専門性を持つことの意義</p> <p>19 福祉サービスの組織の機能と役割組織とは</p> <p>20 福祉サービスの組織の機能</p> <p>21 法人理念、経営理念</p> <p>22 組織の構造と管理組織の成り立ち・構造チームとリーダー組織の経営・運営管理の視点</p> <p>23 コンプライアンスの遵守</p> <p>24 チームの機能と構成</p> <p>25 リーダーシップ、フォロワーシップ</p> <p>26 リーダーの機能と役割</p> <p>27 業務課題の発見と解決の過程（PDCA サイクルなど）</p> <p>28、29 人材育成の方法系教育体系（OJT、Off-JT）ティーチング、コーチング、スーパービジョン、 コンサルテーション、キャリア支援・開発、キャリアデザイン</p> <p>30 モチベーションマネジメント</p>	
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>中央法規出版</p> <p>『最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解』</p>	<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>試験 60%</p> <p>レポート 30%</p> <p>学習態度 10%</p>